

第106回東南アジア学会研究大会 (大阪大学・対面を重視したハイフレックス)
2024年12月7日(土)

2024/12/4更新

	【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 1)			【B会場】603 (Zoom Room 2)			【C会場】632 (Zoom Room 3)			【ポスター会場】記念ホール
(9:15)	開 室			開 室			開 室			開 室
9:30-9:40	開会の辞：菅原由美（会場校・大阪大学）									OpenSEA ポスター発表
	【パネル1】上座仏教社会における高齢者のウェルビーイングと宗教実践：女性高齢者の仏教実践とその多様性			【自由研究発表第1セッション】 司会：鈴木伸二（近畿大学）			【自由研究発表第2セッション】 司会：森下明子（同志社大学）			
9:45-10:20		代表： 速水洋子	京都大学連携教員	タイ式民主主義の浮き沈み	玉田芳史	放送大学京都学習センター	ラオス山村における労働交換：不参加世帯の実状	福島直樹	京都大学CSEAS 連携研究員	
10:25-11:00				マニプル州内戦への道と「ミャンマー・ファクター」	村上武則	東京外国語大学AA研ジュニアフェロー	現代フィリピンにおける社会的リアリズムの実践と美学：アート・アクティビズムを事例として	丹羽理	京都大学博士課程	
11:05-11:40				「科学の大東亜共栄圏」構想の具現化：南方科学委員会の研究成果（1943.11～1944.2）	小林和夫	創価大学	「死者への供物 Pati Kaa Ata Mata」：インドネシア・フロレス島の人々は前代未聞の出来事とどのように折り合いをつけているか	青木恵理子	龍谷大学研究員	
11:40-13:00	昼 食 休 憩									昼食休憩の時間帯には発表者による説明あり
	【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 1)			【B会場】603 (Zoom Room 2)			【C会場】632 (Zoom Room 3)			
	【パネル2】上座仏教社会における高齢者のウェルビーイングと宗教実践：功德と自利利他的概念			【自由研究発表第3セッション】 司会：左右田直規（東京外国語大学）			【自由研究発表第4セッション】 司会：中谷潤子（大阪産業大学）			
13:00-13:35		代表： 速水洋子	京都大学連携教員	稲と交易をめぐるベトナム（越南）との関係に関する琉球史料と祭祀伝承：中国史料、マレー伝承との照合	新江利彦	東洋大学アジア文化研究所客員研究員	インドネシアにおける刑事司法改革に関する一考察：修復的司法の導入をめぐる議論から	神内陽子	名古屋大学	
13:40-14:15				超高層の環太平洋史：日本の対インドネシア戦後賠償建築	山下嗣太	コーネル大学博士課程	親密圏と公共圏を架橋する「つくられた伝統」：インドネシアの地域住民が持つ政治参加信念としてのムシャワラとゴトンロヨンに着目して	大庭フランス光瑠	広島大学博士課程/日本学術振興会	
14:20-14:55				マラッカ海峡を挟み ブミブトラ が辿った異なる歩み：名づけと名乗りの政治学	加藤剛	東洋大学アジア文化研究所客員研究員	リベラル派イスラム思想の展開と「インドネシア女性ウラマー会議（KUPI）」	大形里美	九州国際大学	
	【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 4)									
15:00-15:10	受付：参加者ログイン後、名簿と照会のうえ、入室許可手続き									
15:10-16:10	会員総会									
	【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 5)									
16:20-17:20	OpenSEA ライトニングトーク（LT） ①多嶋花帆（東京大学大学院）、②尾上大和・佐藤理乃（仙台二華高校）、 ③Bella Rousady（慶應義塾大学大学院）、④小川絵美子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）、 ⑤石川航（立教大学大学院）、⑥新井悠子（東京外国語大学大学院）、⑦Clément Hennet（慶應義塾大学）、 ⑧溝口聡美（同志社大学大学院）、⑨宮浦智樹（東京農業大学第一高等学校）									
	3F生協									
17:30-19:00	懇親会									

2024年12月8日（日）

【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 1)				【B会場】603 (Zoom Room 2)			【C会場】632 (Zoom Room 3)			【ポスター会場】記念ホール
(8:30)	開 室			開 室			開 室			開 室
	【自由研究発表第5セッション】司会: 伊藤未帆(神田外語大学)			【パネル3】情報化時代における東南アジア辺境社会のカパチンスのゆくえ: 「持続可能性の風」に着目して			【パネル4】インドシナにおける脱農化と耕農化の社会経済史			OenSEA ポスター発表 昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
9:00-9:35	フィリピンのブラック・ナザレン信仰における宗教コミュニティ-Hijosの信仰実践: 教会と信徒の枠を超えた信仰運営の日常	松崎 準	大阪大学博士前期課程		代表: 生方史数	岡山大学		代表: 高橋昭雄	東洋文庫	
9:40-10:15	ミャンマー仏教瞑想運動の現在を追う: パーアウト瞑想法による集中力の復興	川本佳苗	東京大学/日本学術振興会							
10:20-10:55	カーディリー教団ト・キーセ派の広がりに: ムハンマド生誕祭からの考察	柴山信二郎	帝京平成大学							
11:00-11:35	千の唇、百の舌: エンデの妖術と日本のいじめ	中川敏	大阪大学							
11:35-13:00	昼 食 休 憩									
	【A会場】1F大講義室 (Zoom Room 5)									
(12:45)	開 室 (一般公開)									
13:00-17:00	大会シンポジウム「日本のなかの東南アジア: 移民第二世代に注目して」 (共催: 大阪大学大学院人文学研究科附属 複言語・複文化共存社会研究センター) 1. 趣旨説明 近藤美佳 (大阪大学) 「在日ベトナム人家庭における「認識されないもの」」 2. 瀬戸徐映里奈 (近畿大学) 「在日ベトナム人第二世代にとつてのベトナム経験の意味」 3. 梶村美紀 (国立民族学博物館外来研究員) 「日本定住ビルマ/ミャンマー人2世のアイデンティティ形成: 出自へのこだわりと日本への親近感に着目して」 4. 矢元貴美 (大阪大学) 「フィリピンにルーツを持つ子どもの『つながり』の活用」 5. 永田貴聖 (宮城学院女子大学) 「在日フィリピン人たちのトランスナショナルな実践」 6. 中谷潤子 (大阪産業大学) 「在日インドネシア人によるインクルーシブな宗教コミュニティの形成」 7. 高畑幸 (静岡県立大学) コメント									
17:00-17:10	閉会の辞: 長津 一史 (東南アジア学会会長・東洋大学)									

第106回東南アジア学会研究大会 OpenSEA
ポスター発表 一覧

1	下岡 麻美(大阪大学大学院連合小児発達学研究科 研究生) アーティストではない民衆が街頭で行うアート・アクティヴィズム
2	多嶋 花帆(東京大学 博士課程) 洪水後の水系感染症罹患における行動要因について: 2020 年洪水、西ジャカルタを事例に
3	臼井 諒(同志社大学グローバル地域文化学部 3年) バリ島における合同火葬式の儀礼的完全性と宗教的・社会的意義
4	金井 貴佳子(慶應義塾大学大学院 博士課程) 地元で仕事を創出し家族とともに暮らすための実践知の言語化: ミンダナオ島北部地域の事例
5	阿部 一華(宮城県仙台二華高等学校 2年) 水に対する考え方: カンボジアのナーガ信仰と日本の蛇信仰
6	石沢 瑠其、齋藤 万悠子、佐藤 理乃、新海 晴葉(宮城県仙台二華高等学校 2年) アンコールクラウ村でのバイオイレ運用に向けて
7	大河内 すず(宮城県仙台二華高等学校 2年) 古代遺跡の修復について: アンコールワット遺跡群の例から
8	杉江 知大、横内 聡史(宮城県仙台二華高等学校 2年) 学力向上を目標とした学校生活の充実: カンボジア農村部の高校における調査より
9	石森 雄大、原田 笠華、菊地 さらら(宮城県仙台二華高等学校 2年) バイヨン中高における英語教育と遺跡教育について
10	尾上 大和、横山 智紀、飯田 樂(宮城県仙台二華高等学校 2年) カンボジア農村部におけるマイクロファイナンス利用の実態と認識の世代間格差
11	蜂谷 芽生、工藤 大知、山路 春(宮城県仙台二華高等学校 2年) バイヨン中学校、高校での成績を生徒の自主的な学習によって改善する方法の探究
12	加藤 久美子 (上智大学アジア文化研究所 客員所員) バジョ集落の形成と家族: 集落史と系譜の記憶
13	礪 奈都子(桃谷高校 2年) タイの人々とアジア象の関わり: 働く動物としての動物福祉
14	南 博貴、星 光 (成城高等学校) トンレサップ湖西部における水上生活者の実態調査
15	阿部 航太、高村 大幹(成城高等学校) カンボジアにおける都市周辺と農村部の農民の生活実態
16	Bella Rousady (慶應義塾大学大学院 修士課程) インドネシア・東ジャワの村落部における高齢者が紡ぐ人間関係
17	近藤 千咲季(愛知学院大学大学院 博士前期課程) ミンダナオ・フハイ村の貧困: 長期化する震災避難とバナプランテーションへの依存
18	浦野 里彩(慶應義塾大学大学院 修士課程) 『ゴミ』から見る海洋観: インドネシア ラエラエ島民の『聖』と『清』
19	小川 絵美子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 ジュニア・フェロー) タイのローカル寺院における信仰対象物とアートの交錯
20	チェ ジス(大阪大学外国語学部外国語学科インドネシア語専攻 4年) 現代インドネシアにおけるイスラームと音楽の関係性
21	石川 航 (立教大学大学院 博士後期課程) 2021 年クーデター以降のミャンマー国民の世論: Facebook を活用した調査から見える市民社会の抵抗
22	新井 悠子(東京外国語大学大学院 博士後期課程) 仏領期ベトナム女性誌にみる結婚をめぐる議論の一考察: 1930 年創刊『婦女時談』の言説分析を通して
23	Clément Hennet(慶應義塾大学経済学部 4年) ジャカルタの低所得者コミュニティにおける水害レジリエンスと家計貯金
24	Clotilde Pedron, Kei Cho (Keio University) The Spectrum of Moral Education: The Case of Indonesia's Schooling System
25	森下 大翔、高木 蓮、反保 好古、ルイーズ ミュラー(慶應義塾大学経済学部 3年) より緑豊かな未来に向けたジャカルタの廃棄物管理格差の分析と持続可能な教育の先駆的取り組み: レンテンアグンでの調査研究からの考察
26	溝口 聡美(同志社大学大学院 博士課程) 日本占領下旧オランダ領東インドで生まれた子どもたち: 日本、朝鮮半島、台湾出身の父を持つ子どもたちの父親探しと自己認識の変化
27	松橋 唯介(東京大学大学院 修士課程) タイにおける外国籍・無国籍生徒と「進学」: ミャンマーとの国境地域における職業高校を事例に
28	宮浦 智樹(東京農業大学第一高等学校 3年) 東南アジアにおける小児医療と健康保険制度の現在: インドネシアの歯科衛生環境の実態を通して
29	村上 遥香(大阪公立大学文学研究科都市文化研究センター 研究員) 1980 年代の東ドイツにおけるベトナム人労働者の受け入れ: グループリーダー(Gruppenleiter) のレトリックを中心に
30	山本 育生(九州大学医学部熱帯学研究会) ラオスの日常生活における医療とその背景
31	加納 大暉、犬井 彩乃、兒玉 龍樹、今井 彩歩(慶應義塾大学経済学部 3年) ジャカルタにおけるデジタル決済の普及要因と銀行間競争の影響
32	尾形 学、鳥海 真、小泉 啓史(慶應義塾大学経済学部 太田淳研究会) Universal Healthcare as a National Agenda: The Lived Experiences of Lenteng Agung

ライトニングトーク(LT) 発表者一覧

1	多嶋 花帆(東京大学大学院 博士課程) 洪水後の水系感染症罹患における行動要因について: 2020 年洪水、西ジャカルタを事例に
2	尾上大和、佐藤理乃(宮城県仙台二華高等学校2 年) カンボジアの農村における生活の実態とその課題解決へ向けた取り組み
3	Bella Rousady(慶應義塾大学大学院 修士課程) インドネシア・東ジャワの村落部における高齢者が紡ぐ人間関係
4	小川 絵美子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 ジュニア・フェロー) タイのローカル寺院における信仰対象物とアートの交錯
5	石川 航 (立教大学大学院 博士後期課程) 2021 年クーデター以降のミャンマー国民の世論: Facebook を活用した調査から見える市民社会の抵抗
6	新井 悠子(東京外国語大学大学院 博士後期課程) 仏領期ベトナム女性誌にみる結婚をめぐる議論の一考察: 1930 年創刊『婦女時談』の言説分析を通して
7	Clément Hennet(慶應義塾大学経済学部 4 年) ジャカルタの低所得者コミュニティにおける水害レジリエンスと家計貯金
8	溝口 聡美(同志社大学大学院 博士課程) 日本占領下旧オランダ領東インドで生まれた子どもたち: 日本、朝鮮半島、台湾出身の父を持つ子どもたちの父親探しと自己認識の変化
9	宮浦 智樹(東京農業大学第一高等学校3 年) 東南アジアにおける小児医療と健康保険制度の現在: インドネシアの歯科衛生環境の実態を通して